



第101号 2011年9月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な目次

| | |
|------------------------|-------------|
| 聞きかじり歴史散歩①「桂太郎とスッポン談義」 | P4 |
| ズームアップ 末武裕子(愛知県) | P6 |
| 萩の元気な店24 俣宿・天十平、晦事(萩市) | P8~P9 |
| 夢追人 長岡あゆみ(萩市) | P12 |
| 懐かしい店 食べ処 こづち | P13 |

萩の古きよき町並みを多くの人に知ってもらいたい、という思いで始まった「着物ウィーク in 萩」、今年は山口国体と同時期の開催となります。萩観光プロモーションDVD (2011年3月完成) が、インターネット動画共有サービス「YouTube」でご覧になれます。日本語版 (9分) は萩観光 dvd、英語版 (14分) は hagi city dvd で検索。

また、萩観光ポータルサイトの「フォトライブラリー」から、萩の観光写真の画像 (115枚) が無料ダウンロードできます。

秋の萩は、
着物で楽しむ。

「私の特別な場所」



おいでませ!山口国体

10月1日(土)~11日(火)開催

卓球・石川選手

山口県代表として 萩に登場!

来年のロンドン五輪日本代表(女子卓球)で山口市出身の石川佳純選手が、山口県代表として、萩市民体育館で開催される山口国体に出場します。6月の世界ランキングでは世界9位という実力者で、卓球界のアイドル。

爽やかな「石川スマイル」の登場に、萩市民は国体を心待ちにしています。



「(国体の) 試合会場でいい感覚で練習できました。優勝して恩返ししたいです」



マスコット「ちよるる」

萩の開催競技(10月)

| 競技 | とき | ところ |
|------|-------|-----------------|
| 軟式野球 | 2、3日 | 萩スタジアム |
| 柔道 | 2~4日 | 市民体育館 |
| カヌー | 6~9日 | 阿武川特設カヌー競技場(川上) |
| 卓球 | 7~10日 | 市民体育館 |

山口県では昭和38年以来48年ぶり
萩では軟式野球、柔道、カヌー、卓球の4競技

いよいよ10月1日から「おいでませ!山口国体」が、山口県で開催(38競技)され、萩では軟式野球と柔道、カヌー、卓球競技が行われます。

昭和38年の山口大会

国体は、昭和21年に京阪神地域で第1回大会が開催。山口県では第18回大会が昭和38年(1963)に開催され、以来48年ぶり2度目の開催となります。

昭和38年には、萩で剣道とソフトボールを開催。当時完成したばかりの市民球場で、昭和天皇・皇后両陛下がソフトボールを観覧され、その後笠山・明神池をご覧になりました。ネットワーク会員の皆さんも懐かしい思い出があるのではないのでしょうか。

市民球場は平成17年に解体され、現在は市民憩いの中央公園になりました。

ラグビーは萩商工が中心

萩からも約60人の選手が国体の強化選手に指定されており、多くの選手が出場します。特にラグビー(少年男子)の県選抜チームは、花園の常連校、萩商工高校のラグビー部が中心メンバーです。

▽ラグビー(少年男子)
10月2~6日、長門市俵山多目的広場

5月の小郡萩道路に続き、
9月下旬に
萩・三隅道路も開通!



国体目前!!
道路も続々開通

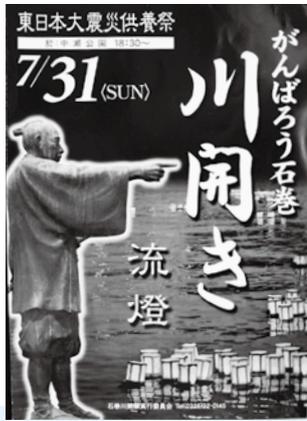
国体開催にあわせ、山口県内の道路整備が進んでいます。萩市近郊では、5月の「小郡萩道路」の開通に続き、9月に山陰自動車道の一翼を担う「萩・三隅道路」が全線開通します。

これにより、小郡萩道路を活用した萩と美祿、萩・三隅道路を活用した萩と長門の広域観光の連携が強化されます。通行は無料。

全線開通で 萩~長門は10分短縮

萩市椿と長門市三隅中を結ぶ、萩・三隅道路(延長約15km)は、平成20年に三隅IC~三見の明石ICの約7kmが開通。21年には、日本海を眺望できる風光明媚な道の駅「萩・さんさん三見」がオープンしました。

9月下旬には、残りの明石IC~萩IC(椿)の約8kmが開通し、萩ICと市街地をつなぐ県道萩秋芳線の4車線化工事も完了します。見晴らしがよく直線の走りやすい道路が完成し、萩市役所~長門市役所間は、約10分短縮され25分になります。



石巻への支援

石巻の礎を築いた 萩出身の川村孫兵衛

東日本大地震災害を救援する萩市の会（会長…野村萩市長 344団体）では、7月に宮城県石巻市へ義援金500万円を送りました。

石巻市は、萩出身の川村孫兵衛重吉が江戸時代の初めに河川改修と新田開発を進めて、日本有数の港町・石巻の礎を作りました。「石巻の開祖」とされ

ています（本紙7月号掲載）。川村孫兵衛へ感謝する祭り「石巻川開き祭り」が7月31日、8月1日開催されました。大正5年（1916）に始まった石巻地方の一大イベントで、88回目今年是、復興への祈りを込めて灯籠流しや花火大会が行われました。



[右から]部長の杉山太紀くん(堀内)と副部長の柿木さくらさん(田万川)

萩高合唱部が 会津高合唱部と共演

8月5日、福島県で開催された「全国高等学校総合文化祭」に萩高合唱部が出場し、会津高合唱部と合同で合唱曲「友情 時を越えて今」を合唱しました。

この曲は、2006年の「国民文化祭やまぐち」に、萩高が作曲、会津高が作詞を担当した混成4部合唱曲です。

合唱部顧問の有富美子先生（萩高昭和47年卒）は、遠く離れていても一緒に歌うことができ、意義がありました。生徒の皆も合唱の素晴らしさを再認識することができました」と話されました。

曲の締めくくりの歌詞は、「今ここから明日を信じ、優しい未来に向かって、飛び立とうさあ」。



唐樋町の地蔵堂を参拝した菅家市長(中央)と野村萩市長(左)。地蔵堂には、16人の白虎隊士たちが自刃する様子を描いた石版画があります

復興支援に感謝 会津若松市長 来萩！

会津若松市の菅家一郎市長が、7月18日萩市を訪れ、東日本大震災の義援金や救援物資を送った萩市に謝意を伝えるとともに、福島市の現状について講演を行いました。

菅家市長（8月に退任）は「萩市民の会や萩市からの義援金（2350万円）を、福島第一原発からの避難者を受け入れている避難所運営等に活用してい

ます」と感謝の気持ちを話され、観光客の激減など影響を与えている放射能については「モニタリングの結果、会津は水も空気も農産物も安全です。ぜひお越しください」と風評被害への取り組みも報告されました。

萩市では、10月24、27日に萩市民号（40人）が会津若松市を訪問し、観光面の復興を支援します。



「萩 WAON カード」白壁越しに見える夏みかんを背景にした萩の観光地のイラスト

全国のイオングループ全店の 買い物で萩を支援!!

萩・三隅道路の萩IC付近に9月初旬、イオングループのディスカウントストア「ザ・ビッグエクス トラ萩店」が開店します。

開店に合わせ、萩市とマックスバリュ西日本が地域貢献協定を結び、利用金額の0.1%が萩市に寄付される電子マネー「萩まちじゅう博物館WAON（ワオン）カード」を発行することになりました。市では、この寄付を「萩まちじゅう博物館構想」の推進に活用していきます。

ふるさと寄付などで、多くのご支援をいただいている萩ネットワーク会員の皆さん、ぜひ萩WAONで、萩を支援ください。

9月上旬、 ザ・ビッグ萩店が 着にオープン

地域（萩ワオン）カードを発行
全国どこでも買い物で、
利用金額の0.1%が萩市に寄付



オープン間近のザ・ビッグ萩店。延べ床面積は約9500㎡。アトラス萩店と並ぶ市内最大の店舗

全国のイオングループ全店で利用できるため、例えば萩出身の東京在住者の皆さんも萩のご当地WAONを利用すれば、利用金額の0.1%が自動的に萩市に寄付されます。

マクドナルドや牛丼の吉野屋など全国約11万2000の加盟店でもご利用いただけます。

9月から発売開始!!

イオンの電子マネーWAONの萩版で、全国で39番目、山口県では初の発行となります。

9月から全国のイオングループ202店舗（本州・四国）の「ご当地ワオンコーナー」で販売開始。

桂太郎と スツポンン談義



桂太郎
(1847～1913)

日露戦争前後の難局を担った首相
戊辰戦争で東北を転戦。維新後
ドイツへ留学、山県有朋のもと
近代軍制を整備。内閣総理大臣
となり、日露戦争を遂行。計3
度内閣を組織。首相在任2886
日（7年9か月）は通算での最
長記録。拓殖大学を創立。

桂太郎は、長州が生んだ軍人政治家です。陸軍大臣のほか3度も総理大臣を務め、その政権担当期間は7年9か月と歴代総理の中で最も長く政権の座にありました。

政権を担当した間、日英同盟の締結、日露戦争の遂行、韓国併合、大正政変と時々の大きな歴史の転換点に直接関わった偉大な政治家の一人でした。

しかし、桂太郎が山県有朋の直系で、山県が行った軍制改革は中央集権国家の成立には欠かせないことでしたが、長州人の被害、困惑が大きかったことから、どうも桂太郎、山県有朋の人氣はいまひとつといった感じでした。

そういうことから、桂が教育に関心が高く、拓殖大学の創設に尽力したことなどはあまり知られていません。

それはさておき、大正2年といえますから1913年、今から98

年前のことになります。

この時期、桂太郎は3度目の総理大臣を務めていましたが、組閣に当たって天皇の「優詔」を要請したことが長きにわたる軍政や閥族政治に対する国民の批判が高まっていて、政局運営は混迷の度を深めていました。桂は政党政治への脱皮を目指して自ら政党の創設を企図しました。しかしこれも逆に反発を受け、議会に内閣弾劾決議案が提出されました。

桂はついに2月、政権50日余で総辞職し、自宅で静養しておりました。

激動の政局を過ごした桂を見舞おうと、政友会の木下謙次郎議員が郷里の名産スツポンを手土産に訪れました。木下は大分県の宇佐神宮周辺を基盤に明治35年に衆議院議員になった気鋭の代議士で、政友会の総帥原敬の参謀として活躍しました。

国会では、正論にアイロニーを

塗して攻め立てるといった手法から、画家岡本太郎の父岡本一平は「木ノ謙の質問はうなぎ引きの鉤先のような」と戯曲描写しています。

また木下は、この時代には珍しく男子厨房に入った開明的な人で、「美味求真」という、今言うグルメ本を出版し、序文には横井小南の系譜の北里柴三郎が筆を執るという、当時としては知られた粹人でもありました。この時の「美味求真」というフレーズは今も使われています。

木下謙次郎が桂邸を訪れた時、ちょうど明治の功臣、杉孫七郎子爵が来ておりました。

杉と桂は共に長州の出身です。杉は藩校明倫館で学び、文久元年（1861）幕府の遣欧使節団に従って欧米を視察し、広い知見を身につけていました。下関戦争では井上馨と和議に尽力し、また元

治の内乱では、高杉晋作を支持しつつも軍事衝突の回避に動きまわりました。

幕府と長州の戦い「四境戦争」にも参謀として出陣するなど維新回天の動乱には終始渦中にいました。そして明治4年（1871）の廃藩置県後は官僚として中枢で活躍し、子爵に列せられます。余談を記せば、杉は漢詩に明るい文人で野村素芥、長三州とともに「長州三筆」と言われた能筆家としても知られ多くの書が残されています。

杉と木下はともども激動の政局の中で奮闘した桂公爵をねぎらい日本の行く末を論じたといえます。やがて話は雑談となり三人で長州と豊後の名物談義に花が咲きました。

そのうち桂公爵が木下が土産として持ち込んだスツポンが気になったのか「スツポンとは見るものなるか、食するものなるか」と冗

談を発しますと、すかさず杉が「食するものなり」と応じたので座はどっと盛り上がったといえます。木下が「それでは」と、自ら包丁を手にスツポンをさばって羹（あつもの）を作ります。その見事な手際に感心した杉子爵が「包丁が牛を解くより巧なり、君は即ちスツポンの頭」と狂歌でたたえました。

すると、桂公が「頭を」に置き換えて重ねて狂歌を読み上げ、場は和気あいあいとした雰囲気になります。

「包丁」は中国の思想書「荘子」に登場する牛の解体が得意な料理人の氏名です。包丁は調理道具とばかり思っていた私としては、当時の人たちが当然のように「荘子」とそこに登場する料理人「包丁」を理解しており、その上で言葉遊びを楽しんでいたという教養の高さに驚かされます。

明治34年、伊藤内閣の後を受けた桂内閣は、ロシアの東進政策に備えて軍備拡張政策を強力に進めたので、その武断政治は内外の批判を受けました。

その間、明治37年には日露戦争に突入する決断を下すなど難しい国政運営を求められましたが、よく耐え戦争も勝利に導きました。しかし、それらの評価よりも過大な戦費調達で経済が疲弊したことから、各地で暴動や労働争議が相次ぎ政局運営は多難の連続でした。

この「スツボン談義」の逸話は、軍人政治家桂太郎が二度目で最後の総理を辞した大正2年の2月のことで、心ならずも武断政治を断

行した心痛から解放され、ホッとした時期のエピソードです。そういう視点で眺めてみますと、杉と木下の桂をねぎらうほほ笑ましい風景の中にも、国を背負って奮闘した明治人たちの骨太い生き様が見えてきます。

桂太郎は、この逸話から8か月後の10月10日に亡くなりました。墓所は世田谷区若林の松陰神社のすぐ近くにありま



拓殖大学が創立100年を記念して2000年、萩市に銅像を寄贈(桂太郎旧宅内)



桂太郎旧宅(川島)

阿武町

「むら」農業について考える国際セミナーを開催
むらの幸せってなんかねえ?

「むらの幸せってなんかねえ」のテーマのもと、阿武町から「むら」を考え直す公開セミナーが、8月1日に福賀のうそんセンターで開催され、町内外から60人が参加しました。



安藤准教授

※主催/京都大学生存基盤科学研究ユニット、共催/阿武地域グリーンツーリズム推進協議会
「むらの幸せってなんかねえ」のテーマのもと、阿武町から「むら」を考え直す公開セミナーが、8月1日に福賀のうそんセンターで開催され、町内外から60人が参加しました。

京都大学東南アジア研究所の安藤和雄准教授の基調講演「く(に)里」、人の相互啓発による農村開発の可能性」では、「農村開発は内(村)、外(村以外)がイコールの関係にあることが大切、お互いがお互いの存在を尊重し合い、学び、啓発し合うこと。村作りは、都会のコピーを作ることではなく、その地域らしさ、本物を継続していくこととの大切さについて」話されました。

トは、地域での生活を楽しむこと、景観を良くすること、住人の意識改革を促す事、多くの人に地域を知ってもらうこと、Uターンする人に合わせるのではなく、そのパートナーに基準を合わせる事。また、高知大学の教授や学生を巻き込んだ取り組みについて話されました。



富士通コンコード ジャズフェスティバル 2011

「マイルスよ永遠に！」と題して(没後20年)、阿武町で開催されます。

ジャズの歴史を紐解き、ビーバップとスイングという魅力ある時代のサウンドを掘り下げ、存分に味わっていただくという企画。日米コラボレーションのビッグバンド・サウンドと洒落たコンボを満喫して欲しい!!

- 日時: 11月6日(日) 午後7時~
- 場所: 阿武町町民センター文化ホール
- 出演: 日野皓正(tp) = ルイス・ナッシュ(ds) 日米オールスター・ビッグバンド
- 料金: 全席指定 8,500円
- 問い合わせ 阿武町町民センター (08388・2・2044)





タレント

末武(渡邊)裕子さん

ひろこ

(秋市越ヶ浜出身、愛知県一宮市在住)
(秋光塩学院昭和53年度卒)



私の近況

今年の大震災は私のタレントの仕事にも大きな影響を与えました。娯楽性の高いテレビ番組やCMが自粛され、しばらくはレギュラー番組も放送されませんでした。

私が出演していた企業のCMも3月からの放送で10日間オンエアされただけで休止になってしまいました。今回はCMソングも歌わせてもらったので残念です。テレビ番組のリポーターとしてデビューし、生活情報番組、音楽番組など生放

することです。

最近ではNPO法人食空間コーディネーター協会での食育の一環で卓育キャラバンをスタートしました。幼稚園や保育園などに出かけ食卓のきまりやしつけを通して子供たちの五感を育てます。「いただきます」 「ごちそうさま」の声が届くように食卓は家族の絆が育ちます。

萩の思い出

萩を出て名古屋での生活の方がずっと長くなりましたが、年々故郷のことを思い出すことが多くなってきました。

タレントの仕事は初めてお逢いする方が多いので短い打ち合わせの時間内にいかにゲストにリラックスマンナーを伝えるかが大切です。そんな時は出身地の話題で盛り上がりやすいです。萩市：…と言えたい方の方が多いので下さっています。ラジオの公開生放送のイベントで一緒にした山本譲二さんとは、山口県出身ということでもステージ上で抱きしめられちゃいました。

私は越ヶ浜育ち。父はフグ漁の網元、祖母は魚屋、海育ちの浜っ子です。小さい頃は、水着は家で着替え、そのまま海に飛びこんでいました。また近くには笠山(かさやま)があり、天然クーラーと呼ばれる「風穴」や、淡水魚と海水魚が一緒に泳ぐ明神池などがあり、野(へび)

いちごを摘みながら笠山に登ったりお花見を楽しみました。不思議がいっぱいの素晴らしい自然環境にいたんだと思います。

萩がつかないでくれた出逢いに、東海指月会への参加があります。萩高校同窓会に光塩学院同窓生も呼んで頂いて、参加させていただきました。1年目はゲストでしたが2年目には司会を任せられ、今年副幹事長になっていました。ホテルで用意してもらった萩のソウルフードを食べながら、「萩クイズ」で気持ちをひとつに。今まで以上に萩の素晴らしさを、そして萩を懐かしく感じてもらえたようです。

もちろん出題は萩ネットワークを参照！
ふるさとに感謝です。

プロフィール

萩光塩学院卒 初等科(13回生) 中等科(25回生) 高等科(28回生)、大阪芸術大学放送学科卒。中京テレビ「ふるさとわが町ベスト10」でタレントデビュー。東海ラジオ「梅丹ヘルシーモーニング」、「赤ちゃんと話そう」など生放送番組のパーソナリティやメーテレの教育番組「親子でチャレンジ」のアシスタント、またデザイン博などのイベントステージ、講演会、コンサートなどの司会も務める。



国際陶磁器フェスティバル「ORIBEX2003」テーブルコーディネートコンテスト入賞作品

現在は、学校や幼児施設で子どもたちに読み聞かせボランティアを行ったり、一宮児童文化協会で読み聞かせ大学や朗読の講師を務めるなど地域活動に力を注いでいる。また、テーブルコーディネーター、フラワーインストラクターとして「東京ドーム焼きものワールド」やデパートなどのディスプレイを手掛ける。さらに、「雑誌「ゼクシィ東海版」の中で、結婚式場でのウエディングコーディネーターやいろいろな店のイベント、パーティープロデュースも行う。また、NPO法人「食空間コーディネーター協会」の「卓育セミナー」で紙芝居を取り入れたステージイベントなども行っている。

萩は自分のふるさと

日野原重明



『生活習慣病』という言葉を生み出したほか、著書『生き方上手』が120万部以上売り上げるなど日本最高齢のベストセラー作家

聖路加国際病院（東京都）理事長の日野原重明さん（99歳）が、7月7日の七夕の日、萩市民館で、市民大学教養講座「輝いて生きる秘訣」と題して講演しました。

10月に100歳を迎えるということで「ちよつと早いけど、今日は100歳の記念講演です」と笑いを誘いながらも、講演中は一度も座ることなく立つまま話されて、お元気そのもの。

◆父から松陰の話をよく聞かされた

日野原さんは、山口市出身ですが、萩出身の父親と先祖が眠る通心寺（椿東上野）に毎年墓参りしています。

萩については「父から、幼い頃松陰の話をよく聞かされていきました。萩は自分のふるさとです」と話され、「経済的な豊かさではなく、精神的な幸福を追い求めることが新しい生き方につながります」と、医師として、また人生の大先輩として、人生の指針を話しました。

萩の観光につなげたい

松前ひろ子



1月に新曲「萩みれん」を発売。演歌の大御所・北島三郎さんといとこの間柄

萩観光大使を務める松前ひろ子さんの演歌「萩みれん」の全国決勝大会が、7月9日萩市民館で開催されました。東京や大阪、名古屋など全国7大都市の予選大会（約800人）を勝ち抜いた10人のグラウンドチャンピオン大会。

「スタッフから、決勝大会の開催地は東京の方が全国から集まりやすく都合がいいと言われてましたが、萩でやるからこそ萩みれん。絶対に萩で開きたい」と松前さんの熱意で、萩で開催することにになりました。「会場いっぱいの方にお越しいただき

涙が出るほど嬉しいです。

切ない女心を歌った「萩みれん」には、藍場川や鍵曲、鶴江の渡し舟など萩の情緒あふれる観光名所が盛り込まれています。カラオケ（D.A.M.第一興商）では、この情景を舞台に松前さんが歌っており、全国どこでも萩の名所を楽しみながら貴女も萩女になれます。

「萩みれんをヒットさせて、萩に行つてみたいと思つてもらえるよう、そして歌の中に出てくる萩の名所を巡つて観光につながるよう、観光大使として頑張つて歌います!!」

地域再生をテーマに新たなプロジェクト

伊勢谷友介



5月21日、松下村塾で野村萩市長と伊勢谷さんによる対談。「やらないことの言い訳をするのではなく、実行することの大切さ」を語った

昨年NHK大河ドラマ「龍馬伝」で高杉晋作役を好演した若手実力俳優の伊勢谷友介さん（株式会社リバー・プロジェクト代表）が、萩市と共同で「萩・維新塾」を手がけています。

現代の松下村塾、ともいえる「萩・維新塾」は、先達の志士たちのように強い意志と志をもつて行動する人材を育てるために、2007年からスタート。今回は、受講者を萩の若者だけに限定し、新たなまちづくりを考える地域再生プロジェクト、その名もハギノベーション塾として5月スタートしました。

「自分たちが暮らすまちの個性や強みを知る必要があります。でも、地元の人たちは意外と何の魅力なのか気づいていなかった

たり、仮に気づいていたとしてもどう活用していいかわからなかったりするので、萩というまちの持つ可能性や魅力を地元の人たちと一緒に考えていければと思っています。

月に1回ほどのペースで活動し、ひとまずの期限である12月までに具体的なアウトプットを完成させる予定です。大げさではなく、萩から日本を変えていきたいと思っています」（伊勢谷）

※メンズノンノ8月号（集英社の紹介記事から抜粋しました）

アンアン7月20日号・ポパイ8月号（ともにマガジンハウス）にも、リバー・プロジェクト代表伊勢谷友介の活動として掲載されました。

ギャラリー
くるまやど てんじゅっぺい
ショップ
コトコト
俣宿・天十平／晦事

中原省吾・万里 オーナー夫婦



観光地である萩城下町の風情に最もマッチしているサービス『人力車』を、市外より持ち込み、もはや萩人以上の萩人となり、地元の人、観光客に愛される存在の俣宿・天十平の中原省吾さん(52歳)と、奥さんであり、ギャラリー俣宿・天十平、ショップ晦事の店主・万里さん(50歳)にお話しを聞きました。

ライフワーク

千葉の市川で生まれ、市川近郊で育った私が、この萩に移り住み、事業を興すようになったのは今から30年前の23歳の時です。高校を卒業し就職をしたものの「これが

やりたい」というものを見つけることができず、仕事帰りに本屋に立ち寄っては啓発本を購入し読んでいました。その中の一冊にアメリカを徒歩で横断した人の本があり、その本を読んで「日本を歩いて回ろう」と決意しました。

トレーニングをしながら資金を貯め、1年後、会社に辞表を出し、京都を中心に8の字を描くよう北海道から沖縄まで日本全国7700kmを7か月半かけて歩きました。しかし、何かを見つけたには至らなく、次に「海を歩こう」と考え、水上歩行機の制作に没頭します。しかしながら、結局海を歩けるものは作れず、志を共にする友人と「今後どうするか?」と

いう話を北九州でしたとき、私が言ったか彼が言ったか忘れてしまいましたか?という話になりました。そして、先の日本一周で立ち寄り、気に入った萩の城下町でやろうと決め、千葉のとある喫茶店に飾ってあった人力車を譲ってもらいました。歩いて回った過去があるだけに、何となく想像はできていましたが、さすがに箱根越えは心が折れそうになるほど困難なものでした。

そうして萩にやってきて、観光協会に伺いを立てるところか、警察に相談もせず、城下町とある店舗の一面を借り、人力車サービスを始めました。創業当時は、まだ全国的に、観光地で人力車に乗るといことが浸透しておらず、城下町・萩と言えども、観光客が人力車を利用することはほとんどありませんでした。もっぱら人力車を使って記念撮影をする撮影料が主な収入源でした。

その後、東京や京都といった大きな観光地で人力車サービスが注目されるようになってからは、この萩でも徐々に利用客が増えてきました。現在でもそうですが、利用される方のほとんどは他の観光地で人力車に乗った経験のある方なのです。そうして3年くらい前から、やっと人力車サービスに

対し人々の抵抗が無くなったなど感じるようになりました。

30年間、人力車をやってきて思うことは、こればかりは人力車に対する思いが強くなければできない職業だということです。なかなか人力車の奥底の魅力を感じてくれる人がいない。後継者が欲しいというわけでもないのですが、私を感じている人力車の魅力が分かってくれる人がどこかに居ないかと、ここ数年考えています。そのような人を見つげるためでもあり、多くの人に人力車の事を知ってもらえればと、今年から毎年1回、人力車にまつわるものの展覧会を行います。既に10年先までの構想はできており、じっくりと時間をかけてやっていこうと思えます。

スリリングな一期一会

千葉から移住してきた夫に出会ったのは今から20年前。当時私は地域情報誌出版社で働いており、萩の若い人が集まる会合でよく一緒にいたり、三高を狙っていたはずなのに気がついたら結婚してしまいました。

今でこそ「俣宿・天十平」の店主として切り盛りしていますが、人力車サービスという水ものを生業としている人の伴侶としてサラリーは捨てるわけにはいかず、結

婚後も出版社に身を置いていましたし、生涯置くつもりでした。が、すぐ主人の人力車に対する情熱の強さに驚かされ、このまま路上でやっついては、いつか限界がくるだろうと感じ、休憩ができる場所が必要だと思いました。

そうして、待合所となる場所を探していたら、現在重要文化財となっている久保田家住宅を貸してもらえることとなり、半年かけ自分たちの手で改修しました。改修していくうちに、この空間は待合所としてあまりに広く、間がもたないと感じ、この空間に好きなものを置き、ギャラリーにしようと考えました。しかし、ギャラリーとなると店番が必要で、この際、主人の夢に付き合うしかない、出版社を辞め、待合所兼ギャラリーの店主となりました。

傳宿・天十平をオープンしたものの、1か月後に出産…。計画性がないというか何というか…。バタバタのなか初年度を乗り越えたかと思うと、翌年久保田家住宅が重要文化財に指定され、立ち退き。そうして現在の場所に店を移したのが平成8年。正に行き当たりばったりでした。

萩には萩焼以外のギャラリーが無かったので、いつかは好きな作家を呼んで個展を開けると良いなと漠然と夢見ていました。実力も顧みず人気の作家に体当たりで交

渉したり、楽しみとプレッシャーを糧に、展覧会を積み重ねていくうちにリピーターも増え、近年観光客が減り、人力車の利用客が少なくなっても、何とかカバーできるだけの常連さんがお店に足を運んでくれるようになりました。

やっつと落ち着いてきたかと思ったら、今度は「ずいぶん前から住みたいと思っていた古民家が空き家になったようだ」と主人。この厳しい時世に2店舗を持つことは、自殺行為だと思いましたが、建物の魅力に負け、結局借りることにしました。築200年の、萩らしいたずまいでお客さんがゆっくりにできるような空間になるように、主人と一緒にリフォームし、昨年オープンしたのが「晦事」です。まだこれだというお店とはなっていないませんが、時間をかけ自立した魅力あるお店になればと思っています。

たくさんのお会いに恵まれたお陰で、行き当たりばったりでも突き進んで来れましたが、人力車にしても、ギャラリー傳宿・天十平、ショップ晦事にしても、私自身萩の風景として萩にあつてほしい存在のものです。この先どういう展開が待っているのかわかりませんが、試行錯誤の連続だと思いが、萩という地で、主人も私も打ち込める仕事に巡り合うことができ幸せだと思っています。



ギャラリー
傳宿・天十平 (くるまやど・てんじゅつべい)
 〒758-0077 萩市南古萩町33-5
 (石井茶碗美術館うら)
 ☎0838・26・6474
【営業時間】 人力車：9時～17時、ギャラリー：10時～18時
【定休日】 年中無休
 ◎人力車観光コース [30分コース] 1名4,500円／2名6,000円、[1時間コース] 1名7,500円／2名1万円、[2時間コース] 1名1万5,000円／2名2万円
 ☎090・7774・4529

ショップ 晦事 (コトコト)
 〒758-0072 萩市呉服町2-32
 (菊屋家住宅となり)
 ☎0838・26・7199
【営業時間】 10時～17時
【定休日】 不定休

7月9日
萩商工高同窓会つばき会総会
萩商工高校体育館(萩市)



池田誠次会長は「つばき会の目標は、母校の発展と地域への貢献。10月には国体が萩でも開催され、萩商工ラグビー部やOBも多数出場する。大会が盛り上がりていくよう皆さんのご支援を」とあいさつ。約500人が参加しました。

役員改選が行われ、初の女性理事4人が役員になりました。引き受けは、昭和50・60・平成7・17年卒の皆さんで、平成17年の卒業生が当時の制服姿で司会進行。

7月9日
広島指月会 ホテルセンチュリー21(広島市南区)



◁今年初参加の山本正義さんと西村不可止会長(右)

今年で16回目、37人の出席。広島周辺在住の指月会会員360人のうち出席は約1割。

中垣謙司萩高校校長からは、春に普通科40人3クラス、理数科35人が入学し、現在の全校生徒は501人。柔道部が全国大会(秋田県)個人戦に2人が出場、合唱部が全国高校文化祭福島大会に出場との報告がありました。

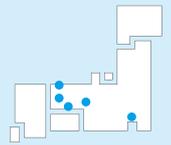
7月16日
つばき会山口支部
ホテルかめ福(山口市湯田温泉)



40人が出席、つばき会の新しい名称になって第1回目。支部長は中嶋誠さん(昭和38年商業卒)。品川豊勝校長から、少林寺拳法部が団体・個人の部で全国大会に出場と報告がありました。出席者のうち、最年長は86歳の古屋正行さんと杉山一成さん(18年商業卒)。

情報
ください!

同窓会だより



「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

8月8日
萩高同窓会総会・八八会
萩高校体育館(萩市)



△村田昌志会長

今年のテーマは「ありがとう」。引受期は平成8年卒の48期生。萩高校の体育館で約700人の同窓生が参加しました。

引受期会長の内田謙一郎さんが「最近はありがとうと言う機会が少なくなってきているので、この八八会をありがとうと言える機会にしてほしい」とあいさつ。今回の総会では役員の改選が行われ、山縣喜一会長に代わり、萩高校4期生(昭和27年卒)の村田昌志さんが新たに会長に就任されました。

今年^{らばるす}は市内のダンス教室「LaValse」によるダンスの披露のほか、萩ケーブルネットワークと連携し、会場の参加者にそれぞれの「ありがとう」をインタビュー。その様子をステージ上のスクリーンに映しました。

8月10日
萩光塩学院同窓会総会
萩本陣(萩市)



昨年に引き続き萩本陣で開催され、約110人が出席。廣澤洋子会長(福岡県在住)より、「国内や海外の情勢が不安定な時期だからこそ、人とのつながり、思いやりが大事であり、同窓会はそれができる場である」とあいさつ。

今年、学校のプロモーションビデオが披露され、出席者は懐かしい学校の映像と若々しい生徒たちの姿に笑みをこぼしていました。

会員投稿 8月14日 萩東中学校、萩本陣(萩市)

萩第一中学校 昭和53年卒同窓会



萩第一中学校の昭和53年卒業生同窓会が、33年ぶりに初めて開催され、約50人の同窓生が参加しました。一中時代の校舎の立て替えが決まったため、中学時代の思い出を残そうと企画されました(耐震性が確保されていない2棟を解体し、24年度中に新校舎一事務局)。

まず、萩東中学校の校舎内を見学。母校の机につき、中学時代の思い出をよみがえらせました。その後萩本陣での懇親会では、33年ぶりの同窓会ということもあり、久しぶりに再会した同窓生との懐かしい話が尽きませんでした。

奥田和彦(3年6組卒) 萩市在住

■ブログ:「萩第一中学校同窓会」、または <http://blog.livedoor.jp/hagilyu53/> で検索

会員投稿 8月14日 酔月(萩市)

萩商工高機械科 昭和40年卒同窓会



高校2年生の時(昭和38年・1963)第18回山口国体を、翌3年生の時(1964年)には東京オリンピックを経験。当時は特に秀才の集まりでした(自称)。

前列中央は荒木先生。 井町充(千葉県柏市在住)

会員投稿

6月26日

関西山峡会

太閤園(大阪市都島区)



旭・川上地域の関西地区同郷会で今年23年目。会員、来賓あわせて48人の出席により盛会に開催できました。川上特産の天然ユズを用いた地酒や佐々並豆腐などの郷土料理を振る舞いました。

会長 青水勉(奈良市在住)

会員投稿

7月3日

ふるさと萩・小川会

吉池本館(東京都台東区)



田万川地域小川の同郷会「ふるさと萩・小川会」が、去る7月3日、東京都御徒町の吉池本館7階において開催されました。今年は34人が出席し、郷土の美酒を味わいながら懐かしい昔を思いながら話が弾み、出席者の近況報告にも各人が熱心に耳を傾けて聞き入っていました。

また、二次会のカラオケにも力が入り、久しぶりに懐かしい郷土の香りを満喫させていただきました。来年度は盛大に20回記念式典を予定しています。本誌をご覧の小川出身の皆様のご出席をお待ちしております。

問い合わせは090・9673・2296(佐伯)まで

会長 佐伯雅人(埼玉県新座市在住)

「百号突破を祝す」
第百号には、尊敬する大先輩や平素の活動に常に国を愛し、日本人として優れた御指導をいただく小田村四郎先生も先祖が萩であり、萩に深く縁のある方とわかり、一段と親近感を覚え、さすがと深く領いた。
浦上敏朗先生とは旧制萩中学で一時期出逢えば、拳手敬礼をした大先輩である。また、有名な明屋書店・安藤明会長が上五間町のご出身とは本誌百号を手にして初めて知り、早速、明屋書店に出かけて、正論主張論客の著書数冊を求めた。嬉しい限りである。

田坂陽治さん(高松市在住)

出羽修氏の「長州と京都」をご恵送いただき誠に有難うございました。

京都では百万遍(尊攘堂近く)で約8年間下宿していましたし、同志社大学(相国寺隣り)で学びましたので、特に懐かしく拝読しております。今でも毎年上洛する機会がありますので、まだ知らなかった長州とゆかりの場所等訪ねて見たいと思っております。

また、私の曾祖父が奇兵隊に入隊(若年につき切腹をまねがれたと聞いております)、その旗と「血判書」が須佐町の歴史民俗資料館に展示されております。

会員だより

中村功郎さん(旧制萩中47期卒、宇部地区志都岐会長、学校法人有備館学園総長)



夢追人

ピアニスト

長岡 あゆみさん

(チャイコフスキー記念ロシア国立
モスクワ音楽院3年生、25歳)

ロシア国内の音楽教育機関として最高の権威を持つ、
チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院に留
学しつつ、帰国時には地元萩でコンサートを開催され
る長岡あゆみさんにお会いし、お話を聞きました。

鍵盤ハーモニカ

あまり記憶にはないのですが、
周りから聞く話によると、ピアノ
を始めるきっかけとなったのは、
保育園の運動会で鍵盤ハーモニカ
を弾いたときからだそうです。運
動会が終わってもずっと弾いて
いた私の姿を見て、父が知り合い

の岩崎照子先生に頼み、ピアノを
習い始め、小学4年生か5年生の
時、岩崎先生の紹介で山根祐子先
生を師事し、大学入学まで教わっ

オフチニコフ先生との出会い

ていました。当時は、次の曲を指
定されたら、それ以上の曲まで練
習するほど熱心に取り組んでいま
した。とはいえ、その頃はまだプ
ロのピアニストになりたいという
気持ちはなく、只々夢中になって
いたのだと思います。

転機となったのは、くらしき作
陽大学音楽学部音楽学科モスクワ
音楽院特別演奏コースに入学し

て、ウラディー
ミル・オフチニ
コフ先生に出会
い、指導を受け
るようになって
からです。くら
しき作陽大学を
志望したのも日
本にいながらロ
シアの先生に習
えるという所に
魅力を感じたか
らなのですが、
オフチニコフ先
生との出会いは、

私の人生を変えても大きなも
のでした。1回目のレッスンの時
先生の一言で自分の音楽の全てが
変わっていくのを感じました。そ
れほど衝撃的で、指導を受けてか
ら母に私の演奏を聴いてもらった
とき、素人の母でさえその違いを
感じるほどの変化があるものでし
た。その後も先生からアドバイ
スを戴いたり、ピアノに合わせて
歌ってくれたり、先生の演奏を聞
くたびに自分が変わっていくこと
に喜びを覚え、レッスンが何より
も楽しいものとなり、いつしか先
生のようになりたいと思い、プロ
を目指すようになりました。

音楽先進国ロシア

くらしき作陽大学卒業後も先生
の指導を受けたいと、モスクワ音
楽院大学院に入学するためモスク
ワに渡りモスクワ音楽院研究科で
1年学び、晴れて大学院に入学し
たのが2年前。当初、オフチニコ
フ先生のクラスは生徒がいっぱい
で、クラス入りを許可してもらえ
なかつたのですが、私の想いが通
じたのかOKを頂き、現在も先
生の指導の下、ロシア音楽を学ば
せてもらっています。モスクワに
渡り3年、大きく感じていること
は、生活の中に自然と音楽があり、
音楽をする若者を育成する環境が
整っており、音楽文化が定着して
いるということ。モスクワ音楽院
だけでもコンサートホールが3つ
あり、毎日コンサートが開かれて
います。待ち合わせしている女性
二人が「今日はどのホールでどん
な音楽のコンサートをしている」
と話しながら、散歩がてらコン
サートに立ち寄る。どのコンサ
ートでも学生証を提示すると無料
で入場させてもらえる。日本人の私
にとつては正にカルチャーショッ
クでした。そして、そのような環
境の中で学ばせてもらっているこ
とに、とても幸せを感じています。

模範

あと1年モスクワ音楽院でオフ
チニコフ先生の下で学ばせてもら
えます。先生は私が目標とするピ
アニストであり、音楽性はもちろ
ん、ピアノの弾き方、人間性に至
るまで、先生のようになりたいと
思っています。卒業するまでに、
できる限り先生の技術を盗めるだ
け盗み、先生のようなピアニスト
になると共に、教え子が一言一言
で変わっていく魔法使いのような
指導者にもなりたいたいと思ってい
ます。そして、無事卒業し帰国で
きたら、色々な所でコンサートを
開きたいです。

プロフィール

1986年生まれ。萩市立萩東
中学校卒、萩光塩学院音楽コー
ス卒53回生(平成15年度卒)、
くらしき作陽大学音楽学部音楽
学科モスクワ音楽院特別演奏
コース卒業後、モスクワ音楽院研
究科で1年学び、チャイコフス
キー記念ロシア国立モスクワ音
楽院大学院に入学。この9月か
ら同音楽院大学院3年生。



懐かしい店 食べ処 こづち

深夜0時でも満席で賑わう「お食事処こづち」にお邪魔すれば、不景気な世の中だということが嘘に思えるほど活気に溢れています。なじみのお客から、観光客までも笑顔で食事を、お酒を楽しまれ、萩で最も人が集まる飲食店と言われるのもうなずけます。

今から先代の女将さんが39年前萩グランドホテル前交差点の一角に15席の小さな小料理屋としてオープンされ、夜通し営業される店でした。仕事上がり、一杯ひっ



かけるタクシーの運転手さんも多く、閉店時間の朝6時、7時まで賑わう時代もあったと言われます。そして女将さんの実子である現こづち大将に代替わりする際に、23年間営んでいた小さな小料理屋から場所を変え、現在の萩ツインシネマビル1階に新生・お食事処こづちをオープンしたのが今から16年前。新しくなったこづちでは、それまで提供していたメニューに加え、店が大きくなったのを機に、地元漁師と直に契約し、安定した

鮮魚の提供に力を注ぐとともに、メニューを大幅に増やし、食事メニューの店へと変わりました。

コンセプトは「鮮度の良い素材にあまり手を加えず、素朴な料理として提供する敷居が高くない店」と言われ、いかにも『田舎のお店』という雰囲気にしたとのこと。「もつとポロポロ感があってもいい」と大将。萩を訪れる観光客のニーズをよく理解されています。

お店のこだわりを聞くと「とにかく飲み物は早く提供できるように心がけています。満席で込み合っているにも迅速にテーブルに運ぶ。どんなに良い料理を提供する店でも、なかなか乾杯ができない店って嫌でしょ」と。いかなる状態でも、当たり前のことを当たり前のこととしてサービスできる能力こそ、人気店であり続ける所以なのだと言われます。

今後は、早い時間からの営業も視野に入れているとも言われ、「田舎のお店」でありながらも、お客のニーズに敏感なお店です。

■お食事処 こづち
萩市東田町18 萩ツインシネマビル1F

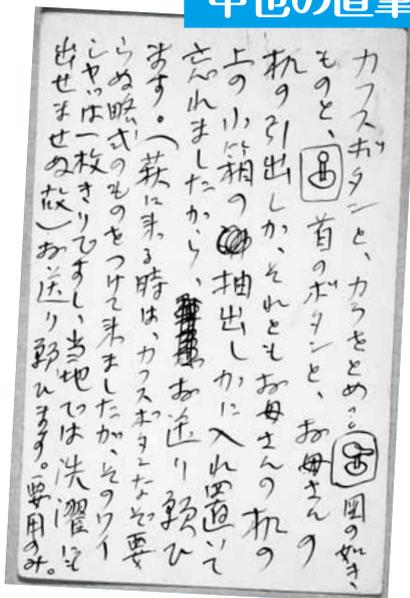
☎08388・22・7956

営業時間 午後6時～午前2時
(※日曜日は午前0時まで)

定休日 水曜日

中也の直筆はがき

萩町河添から 湯田温泉の母フク宛て



写真提供：中原中也記念館

1930(昭和5)年8月5日、ワイシャツのカフスボタンと首のボタンを母親の机の上の小箱に入れ、忘れていたので送ってほしいと、用件のみ書かれている。

中原思郎さんは著書『兄中原中也と祖先たち』(1970年発行、審美社)で、「昼間、ねころんで本を読み、眼が覚めると井戸水で冷やしたビールを飲み、酔ってくる」とまた横になった」と紹介している。

1930年当時、湯田で医院を開業していた中原家は父謙助さんの死後、別の医師に医院を貸していた。23歳の長男中也是が東京にいたが、四男の思郎さんが萩中学校に転校したため、中原家は萩の河添に家を借り、母フクさんたちは湯田の家と萩の間を往復していた。

30年9月に中央大学予科に入學していた中也是は、帰省の時は家族が住んでいた萩に帰った。中原家は31年に湯田に戻った。萩での中也の様子について、

岩国出身の文芸評論家、河上徹太郎あてのはがきには、「恐ろしく間取りの悪いこの家は、涼しいにはバカに涼しい。朝から晩まで、15人は通るでしょう。蟬が猛烈に鳴くのだが、もし蟬でも鳴かなかつたら、どうにもしようのない程退屈だろうと思います。もつとも、いくら退屈でも、東京の暑さを思うと、今の退屈の方がましだと思います。す・・・」終日松林の中に寝ころんでいて、空が落ちて来て「も平気です」と書いている。

情報アラカルト

韓国

■2011茶碗招待展

山口県と姉妹提携を結んでいる慶尚南道で、陶芸家 岡田裕、波多野善蔵、野坂康起、兼田昌尚ほか41人の作品が展示されます。

9月20日(火)～29日(木)

韓国 慶尚南道金海市 金海文化の殿堂

関東地区

■東京指月会

関東地区の萩高同窓会。

10月22日(土) 午後2時30分～

東京都千代田区 日本工業倶楽部 (JR東京駅丸の内北口)

(090・7264・6954)三浦

■つばき会関東支部総会

関東地区の萩商工同窓会。

11月12日(土) 午後3時～

東京都中央区銀座1・26・1 ホテル銀座ラフィナート月光の間

(03・3373・4020) 野村

■萩ガラス展

9月17～19日は名人彫込の実演があります。

9月8日(木)～21日(水)

東京都豊島区西池袋1・1・25 東武百貨店池袋店6階

(03・5951・8517)

■行動展

行動美術協会の公募展に、画家・藤崎恒頼の150号の大作「漁夫の唄」が出展されます。

9月14日(水)～26日(月)

東京都港区六本木7・22・2 国立新美術館(公募展)

大阪展が10月12日(水)～16日(日) 大阪市立美術館。その後

京都展(11月)、福岡展(12月)。

■紀ノ国屋「山口フェア」

萩で水揚げされた魚が直送販売されるほか、矢次蒲鉾店の「萩甚吉」や忠小兵衛蒲鉾の「ごぼう巻」などが販売されます。

9月21日(水)～27日(火)

紀ノ国屋首都圏6店舗 インターナショナル店、渋谷店、等々力店

吉祥寺店、国立店、鎌倉店

■山口地酒維新

維新の地「やまぐち」の地酒と料理を堪能できます。

萩の中村酒造、岩崎酒造、岡崎酒造場、八千代酒造、澄川酒造場が参加します。(参加費8000円、先着500人、要予約)

9月22日(木) 午後7時～9時

東京都文京区関口2・10・8 椿山荘5階オリオン

(問) 山口県酒造組合

(0833・973・1710)

■岡田泰 作陶展

9月27日(火)～10月3日(月)

横浜市西区高島2・18・1 そごう横浜店 (045・465・5515)

■12代三輪休雪てふてふ展

9月28日(水)～10月4日(火)

東京都中央区日本橋2・4・1 東京高島屋 (03・3211・4111)

○横浜展

11月23日(水・祝)～29日(火)

横浜市西区南幸1・6・31 横浜高島屋(045・311・5111)

■「西端峰苑×なだ方横浜店」書作展

日本料理店「なだ方」の店内を西端峰苑(旧姓岡本順子、大阪府在住、萩高昭和41年卒)の書作品で飾ります。

9月30日(金)～10月31日(月)

神奈川県横浜市西区みなとみらいヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル4階 なだ方横浜店(045・223・3344)

■おいでませ山口館イベント

○秋の味覚フェア

10月上旬頃

東京都中央区日本橋234 日本橋プラザビル1階 (03・32231・1863)

○山口県フェア

椿山荘、フォーシーズンズホテル椿山荘東京(東京)、箱根ホテル小涌園(神奈川県)、太閤園(大阪)、京都国際ホテル(京都)で

山口県の食材を使った料理が提供されます。

10月1日(土)～31日(月)

■鎌倉市姉妹都市(萩市、上田市、足利市、鎌倉市)物産展

萩市から、かまぼこ、海産物、夏みかん製品等が販売されます。

10月7日(金)、8日(土) 午前9時30分～午後4時30分(9日は3時30分まで)

鎌倉市小町1・10・5 鎌倉生涯学習センター

(問) 萩市商工課

(0838・253・3108)

■萩・世田谷幕末維新祭り 萩観光物産展

萩市から、夏みかん菓子、萩焼地酒、海産物等が販売されます。

10月22日(土)、23日(日) 午前10時～午後6時(23日は5時30分まで)

東京都世田谷区 松陰神社人口若林公園前

(問) 萩商工会議所

(0838・253・3333)

■岡田裕 作陶展

11月9日(水)～15日(火)

群馬県前橋市千代田町2・13・3 スズラン前橋店 (027・233・1111)

東海地区

■12代三輪休雪てふてふ展

11月9日(水)～15日(火)

名古屋市中村区名駅1・1・4

関西地区

■萩商工商業科38年卒同期会

11月10日(木) 午後6時～

京都市南区東九条西山王町31 ホテル京阪京都 (075・983・5084) 横山

■LIVING&DESIGN TAKE Create HAG

Iの竹製品が展示されます。

9月14日(水)～17日(土) 午前10時～午後6時(最終日は午後5時まで)

入場料 1000円 ※事前登録、招待状持参者は無料

大阪市住之江区南港北1・5・102 インテックス大阪 (06・6612・8800)

■12代三輪休雪てふてふ展

10月12日(水)～18日(火)

京都市下京区四条通河原町西入真町52 京都高島屋 (075・221・8811)

○大阪展

10月26日(水)～11月1日(火)

大阪市中央区難波5・1・5 大阪高島屋 (06・6631・1101)

中国地区

■つばき会広島支部総会

広島地区の萩商工同窓会。

9月10日(土) 午後6時30分
 広島県広島市南区の場町
 ホテルセンチュリー広島21
 連絡先 コストプランニング(株)
 (082254553630) 藤本
金子司 個展
 11月3日(木・祝)〜9日(水)
 広島県広島市中区胡町6・26
 福屋八丁堀本店7階美術画廊
 ギャラリー101
 (08222466111)

山口県関係

山口指月会

山口地区の萩高同窓会。
 10月18日(火) 午後6時〜
 山口市湯田温泉 翠山荘
 (08339333380) 中原
第4回ふるさとの匠たち
 金子司の作品が展示されます。
 9月23日(金・祝)〜27日(火)
 午前10時〜午後5時
 防府市戎町1・1・28
 防府市地域交流センターアスピ
 ラート(0835265151)

山口県伝統的工芸品フェスタin
 うべ
 10月13日(木)〜16日(日) 午前9
 時〜午後5時(13日は10時)
 宇部市大字沖宇部254
 宇部市ときわ湖水ホール
 (0836517657)

九州地区

九州指月会

九州地区の萩高同窓会。
 9月11日(日) 午後3時〜
 福岡県福岡市大名2・6・60
 西鉄ランドホテル
 (0932016303) 廣瀬

つばき会九州支部総会

九州地区の萩商工同窓会。
 10月22日(土) 正午〜
 北九州市小倉北区堺町1・8・14
 小倉飯店
 (09096454861) 山谷

萩市関係

山口県現代工芸美術展

山口県在住の現代工芸作家(22
 人)の陶芸、染織、皮、金属など
 の作品を展示します。
 7月15日(金)〜9月25日(日)
 椿東426・1 吉賀大眉記念館
 (0838265180)

萩焼ぎやらりい彩陶庵の企画展

○韓国萩陶芸交流展
 PreExhibition at HAGI
 「第5回韓国萩陶芸交流展」(12
 月9〜18日)に出展する、岡田泰
 小川浩延、金子司、兼田知明、佐
 久間正和、渋谷英一、田口潤、玉
 村信一、中島大輔、野坂和左、松
 浦洞心ほか15人の作品が展示され
 ます。
 9月10日(土)〜19日(月・祝)
 午前10時〜午後6時
 ○萩四人展 5th 守破離
 金子司・中島大輔・野坂和左・濱
 中史朗の作品が展示されます。

10月22日(土)〜10月30日(日)
 萩市呉服町1・3 彩陶庵
 (0838253110)

萩市民大学教養講座

○9月22日(木) 午後7時〜8時
 30分
 演題 「龍馬伝」に込めた想い
 講師 福田靖(脚本家)

○10月12日(水) 午後7時〜8時
 30分
 演題 「政治はこれでいいのか」
 講師 岩見隆夫(政治ジャーナリ
 スト)
 受講料 1000円(セット)
 会場 萩市民館大ホール
 (問) 萩市文化・生涯学習課
 (0838253590)

伊藤慶二陶展

○伊藤慶二陶展
 10月8日(土)〜16日(日)
 ○英国アンティーク家具&雑貨店
 10月22日(土)〜31日(月)
 ○山本教行うつわ展
 11月12日(土)〜20日(日)
 萩市南古萩町33・5 俣宿天十平
 (0838266474)

「日本のユウ」 the art of table」セミナー

10月9日(日) 午後2時〜4時
 講師 丸山洋子(テーブルコー
 ディネーター)
 テーブルコーディネート展示 10
 月9日(日)〜16日(日) エントラ
 ンスホール
 萩市平安古586・1

山口県立萩美術館・浦上記念館
 (問) 株式会社 優しい食卓
 (0352151287)

出版情報

■「キハチのさかな 酒の肴の
 魚」 熊谷喜八著
 日本を代表するシェフ、KIHACHI
 熊谷喜八氏による萩の新鮮食材を
 使った簡単レシピ85品。
 B5判/112ページ
 価格/1575円(税込)
 出版社/ポプラ社

■「伊藤博文演説集」 瀧井一博著
 憲法制定、議会開設の由来とは。
 国民政治の理想を唱え、日本を文
 明国へと方向づけた政治家の言葉
 代表的演説39篇を収録。
 文庫判/458ページ
 価格/1365円(税込)
 出版社/講談社学術文庫



■「高杉晋作の手紙」一坂太郎著
 吉田松陰、久坂玄瑞、桂小五郎
 らに吐露した本音。幕末を駆け抜
 けた息吹が生で伝わってくる書簡
 100通を厳選。

文庫判/372ページ
 価格/1208円(税込)



講談社学術文庫

■「長州維新の道(下) 萩往還」
 九州文化図録撰書第9号、長州
 と筑前、維新を歩く3部作の第3
 弾。萩往還を歩く長州の幕末が
 見えてくる。萩往還の写真を満載
 A4判/128ページ
 価格/2415円
 (問) 図書出版のぶ工房
 (0925316353)

テレビ情報

■日本テレビ「心に刻む風景」
 著名人の家や街、風景等を紹介
 する番組。毎週水曜日。
 放送時間 午後9時55分〜10時
 10月頃に高杉晋作が紹介されます。
 放送局 全国日本テレビ系

プレゼント

①晦事(コトコト) オリジナルの
 夏みかんマーマレード2本セット
 を2名様
 ■応募方法
 ハガキに品名、住所、氏名、電話
 番号、近況等を明記のうえ、萩
 ネットワーク協会プレゼント係ま
 で。9月末日(消印有効)。

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 10月1日(土)~10日(月・祝)
◆着物ウィーク in 萩 萩城下町周辺
- 10月7日(金)~9日(日)
◆萩・竹灯路物語 萩城下町 萩博物館周辺
- 10月7日(金)~10日(月・祝)
◆萩・田町萩焼まつり 萩市田町商店街
- 10月9日(日)
◆萩・魚まつり 山口県漁協萩地方卸売市場 道の駅・萩シーマート



山口県立萩美術館・浦上記念館だより ☎0838・24・2400



開館 15 周年記念
浮世絵 名品 300 選
 10月1日(土)~11月27日(日)
 収蔵されている浮世絵版画約5,200点の中から厳選された名品300点を150点ずつ前期(10月1日~30日)・後期(31日~11月27日)に分けて展示します。
 浦上敏朗氏の寄贈品を中心に、開館以来最大の作品数が展観され、浮世絵版画の精華を心ゆくまで堪能できる機会です。
 ▶観覧料 一般1,000円、70歳以上・学生800円
 ▶休館日 月曜日(10月10日[月・祝]は開館)
■9月25日(日)までは
 「古陶の譜 中世のやきもの一六古窯とその周辺一」

△喜多川歌麿「扇屋内花扇 よしのたつた」大判錦絵 寛政8年

萩博物館だより ☎0838・25・6447

萩博物館 幕末明治の人物と風景 一藩都萩に眠る古写真から一 9月17日(土)~11月20日(日)



◀明治2年(1869)東京若林で催された吉田松陰慰霊祭に集う広沢真臣・前原一誠・山田顕義ら

萩博物館の収蔵資料の中から、幕末・明治期の歴史を物語る古写真に焦点をあてて、「人物編」と「風景編」の2部構成で紹介、大半が初公開の写真です。
 激動に立ち向かった人々の力強い表情や、近代化草創期の風景・建物などが視覚的によみがえります。
 ▶観覧料 大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円 ▶年中無休

新規(再)加入会員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-------------|-----------------|--------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------|----------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|----------------|--------------|------------------|
| 森重保子さん (美祿市) | 山根隆さん (山口市) | 末富延幸さん (山口市) | 平田勝子さん (山口市) | 阿部ウタ子さん (山口市) | 小田善郎さん (美祿市) | 長岡忠孝さん (広島県広島市) | 茂刈利夫さん (広島県東広島市) | 西村裕子さん (広島県廿日市市) | 林智恵子さん (広島県広島市) | 山本正義さん (広島県廿日市市) | 福田勝弘さん (広島県広島市) | 俵屋真治さん (広島県広島市) | 石田純子さん (大阪府泉南郡) | 中山潔さん (埼玉県川口市) | 吉本光夫さん (茨城県日立市) | 塩田稔子さん (兵庫県明石市) | 田村利文さん (大阪府東大阪市) | 佐伯玲子さん (千葉県八千代市) | 生田目豊子さん (静岡県沼津市) | 田辺武夫さん (神奈川県横浜浜市) | 青木成文さん (神奈川県横浜須賀市) | 佐々木稔さん (東京都江戸川区) | 須郷三悦さん (千葉県千葉市) | 村上敏さん (東京都町田市) | 齊藤義晴さん (神奈川県川崎市) | 八島貞範さん (大阪府貝塚市) | 原重徳さん (神奈川県横浜浜市) | 大塚ヨシ子さん (千葉県千葉市) | 増野寿光さん (愛知県清須市) | 山崎孝さん (大阪府茨木市) | 川原輝彦さん (萩市) | 國重伸治さん (東京都国分寺市) |
| 木村正泰さん (奈良県高市郡) | 山本武生さん (萩市) | 蔵田忠信さん (大阪府豊中市) | 近藤凡也さん (長門市) | 津田重幸さん (福岡県行橋市) | 増山好彦さん (神奈川県大和市) | 平田清子さん (萩市) | 上田哲也さん (萩市) | 小野清和さん (大阪府堺市) | 神田幸代さん (千葉県船橋市) | 富田正宏さん (千葉県千葉市) | 勝本克正さん (福岡県北九州市) | 田中和江さん (大阪府枚方市) | 御手洗敏明さん (神奈川県横浜浜市) | 澄川眞治さん (萩市) | 羽倉義征さん (兵庫県神戸市) | 藤道健二さん (東京都杉並区) | 白上貞三さん (萩市) | 大槻茂さん (東京都世田谷区) | 佐藤仁美さん (茨城県取手市) | 左野博道さん (鳥取県米子市) | 白神能和さん (愛知県あま市) | 松本恵子さん (萩市) | 上利真紀子さん (阿武郡阿武町) | 野村真由美さん (東京都青梅市) | 小川恵子さん (東京都青梅市) | 大賀良恵さん (島根県益田市) | 坂口覚美さん (神奈川県三浦郡) | 吉屋寿美さん (山口市) | 平賀敏雄さん (山口市) | 福井政嗣さん (山口市) | 小野和男さん (山口市) | |
- (6月25日~8月24日) 65人